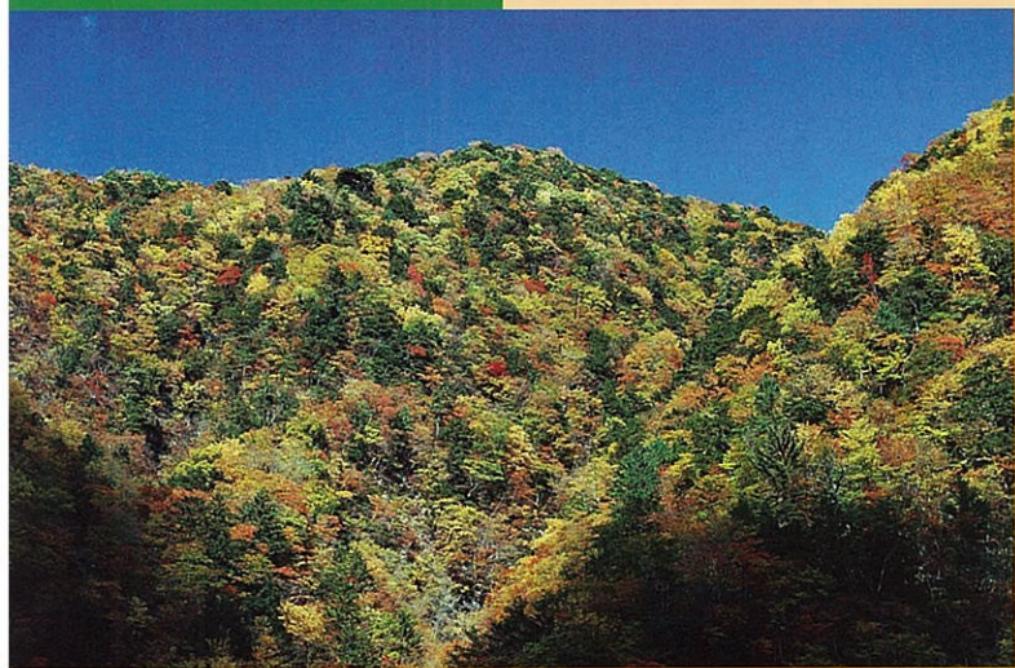


# 緑の宝



2008  
秋号  
No.46



鳥森山 (株) 東海フォレスト東山則行氏提供

## 目次

会長挨拶	P2	きこりになろう(秋編) ~県民の森~	P6
経営企画委員会だより		建設部都市局公園緑地室	
ワールドガーデンコンペティションに応募出展	P3	これもいい!浜名湖ガーデンパークの楽しみ方	P7
技術委員会だより		~体験教室編~	P7
壁面緑化モデル事業(仮称)の進み具合はどう?	P3	景観整備機構コーナー	P7
啓発労働委員会だより		産業部農林業局みかん園芸室	
ホームページに「会社」のPRメッセージを載せよう!	P4	「花咲くすおか」花いっぱいコンクール	P8
建設業安全衛生ガイドブック(平成20年版)の紹介	P4	入賞者決定!	P8
支部だより(中部支部)		技士会だより	
緑のクリニック事業 ~育成管理巡回指導に想う~	P4	自然からの警鐘	P9
支部だより(西部支部)		第4回「山野草」技術研修会に学んで	P9
育成管理指導に行ってみて	P5	造園施工管理技士をめざして	P9
お知らせ		お知らせ	
こんな木・虫を発見したらご連絡ください!		「歓木」標柱除幕式を計画	P10
~カシノナガキイムシによる被害~	P5	森の力再生事業の整備要件の緩和	P10
県民部環境局自然ふれあい室		協会月誌	P11
緑化ボランティア育成研修	P6	話題の森 「基幹技能者制度」	P12
秋の森づくり県民大作戦が始まります!	P6		

# 会長挨拶



(社)静岡県造園緑化協会会長

片桐 利男

においては技術力の評価が大きくなり、年々多様化してきており、緑化工事に対して対応できる専門業としての技術力の研鑽に努め、緑化の推進役として広く社会に認められる造園緑化協会になることと地位の向上に励むことであるうかと思ひます。

例年なく酷暑の長い夏も漸く終りを告げ、爽秋の訪れとなつて参りました。今年の夏は、異常とも思われる暑さと原油高による諸資材の高騰等工事原価への影響は著しく、会員の皆さんには大変な「苦勞の毎日を過ごされておられると推察申し上げます。

さて、ここ何年も地球の温暖化に伴う環境緑化の重要性が大きく叫ばれておる中につても、緑化に直接携わる我々の仕事は一向く気配が見られず、工事量の減少による低価格競争も激しく原価割れも心配されるような受注等、悪循環が続いているのが現状であるとかと思われます。

この厳しい社会状況の中、まことに険しい道程ではありますが今こそこの困難な時をどのようにしたら乗り越えていけるのか真に試練の時であるとかと思ひます。「春の来ない冬はない」寒い冬のあとは暖かな春はきっと来る事を願い、一人ひとりの力は弱くとも大勢の人が力を出し合えば強くなります。大勢の人が知恵を出し合い、厳しい風でも打たれ強い力を蓄えるために今こそ全員が一層の團結を図っていくことが一番大切なことです。会員はお互に広く情報の交換をし合い、仕事の独り占めでなくたえ少しの仕事でも分け合える、信じ合える仲間こそが協会員であり固い絆で結ばれる事であると思ひます。そして何より大切なことは、技術力の向上であります。特に公共工事

この夏の全国高校野球大会で県代表の常葉菊川高校の活躍は私どもに大きな教訓と勇気を与えてくれました。打たれたら打ち返す。点を取られたら取り返す。どんな逆境にあつても常に目標を見失うことなく、勝利への直向きな高校児の闘志。残念ながら優勝は逃しましたが真剣に全力を振り絞り戦う姿は、私どもに多くの見習うべき事を教えてくれました。球場が彼等の戦場であるならば、われわれの戦場は工事現場であります。高度な技術力をもつて、優れた工事の完成に向かつて戦い続けて参らねばならないと思ひます。また、先ごろ閉幕しました北京オリンピックは史上最多の二〇四の国、地域が参加して行われ、一七日間にわたり熱戦が繰り広げられました。その様子は全国のテレビで放映され、日本選手の活躍は多くの人に感動と感銘を与えてくれました。国歌が流れ日の丸の国旗が揚がると、思わずテレビの前で手をたたいてしまいました。オリソビックという大舞台の重圧の中、國の威信をかけ世界中のトップ選手と戦い勝ち抜くことは並大抵のことではなく、汗と涙の日頃の鍛錬と努力のたまものであると同時に、必ず自分との戦いに勝つことであると思ひます。

私ども協会員も高校球児やオリンピックの選手のように常に目標を見失うことなく一層の技術の向上に励み、大変な苦しい時であつても緑化の担い手としての自覚を失うことなく広く社会に貢献し、信頼される協会になるべく前進して参りたいものであります。加油(ジャヨー)頑張れ。

## 総務企画委員会



## ワールドガーデンコンペティションに応募出展 ～浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009～

平成21年5月1日から10日間浜名湖ガーデンパークで開催される「浜名湖フラワー&ガーデンフェア2009」。当協会ではこのフェアの中心的なイベントとなる「ワールドガーデンコンペティション」に応募出展することとしました。テーマは「心やすらぐ庭」～ネオ・ジャバネスク・ガーデン～。規模は727mの約500m<sup>2</sup>の区画。協会では会員へコンペ方式で出展応募の募集をかけましたところ、会員の皆さんは遠慮深く応募作品はありませんでした。そこで、相談のうえ西部支部のみなさんの中から出展をお願いしましたところ(株)片桐造園建設様から出展の承諾をいただき、去る9月下旬に斬新なデザインにまとめられた応募作品を提出したところです。

これからも暮らしの中で求められる心やすらぐ空間(庭)を新しく全国に提案することとしています。出展の晚上はどんな仕上がりとなるか楽しみです。会場でぜひご覧ください。●



## 技術委員会



## 壁面緑化モデル事業(仮称)の進み具合はどう?

今年度から施工実施する「壁面緑化モデル事業(仮称)」は基本設計の作成段階まで進みました。技術委員会が平成18年度から検討に入ったこの事業。ようやく具体的な施工まで漕ぎつけました。以下にこれまでの経過を振り返ってみます。●



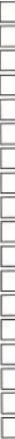
3年経過した事例を調査(浜松市)

年 月 日	項 目	概 要
18. 8. 29	研修・講習等についてのアンケートを実施	専門技術講座として新技术について取り上げてもらいたいとの意見多し 具体的には屋上・壁面緑化がトップ
9. 5	技術委員会で屋上・壁面緑化をテーマとして取り上げることを決定	技術委員会独自の技術研鑽が課題 施工事例の視察を検討
10. 25	東京都内、横浜市の事例を視察	六本木ヒルズ屋上庭園、港区民間壁面緑化、横浜市東京ガス(株)環境エネルギー館屋上緑化
19. 2. 28	技術委員会	会員による屋上緑化、壁面緑化等の研究、開発とその成果の普及と提案を目指す
5. 18	技術委員会	技術研修会を実施することを決定
7. 20	屋上・壁面緑化技術研修会	講師：(株)静岡グリーンサービス 櫻井淳氏 ～屋上・壁面緑化等の特殊空間緑化～
20. 2. 21	特殊空間緑化技術研修会	講師：イビデングリーンテック(株) 直木哲氏 ～壁面緑化の現状と展望～
3. 10	技術委員会	次年度で壁面緑化工事を施工することを計画 支部から候補地を挙げてもらうこととした
4. 30	通常総会	事業計画及び予算決定
5. 27	技術委員会	実施計画について議論
6. 2	役員会	実施計画を了承
7. 25	正副会長・支部長・技術委員長会議	候補地を「サンストリート浜北」に決定。技術委員会及び会員の基本的関わり方を議論 各段階で技術委員会、会員を関わらせることとした
8. 26	現地調査	
9. 1	基本設計作成着手	

## ホームページに「会社」のPRメッセージを載せよう!

ホームページの会員紹介のページにPR用の空間があります。

会員の会社PRコメントを十八文字以内でいれてみませんか。

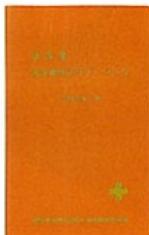


※コメントは協会事務局までお寄せください。

【事例】  
会員名  
(社)静岡県造園緑化協会

所在地  
静岡市葵区呉服町  
電話番号  
○五四一・二五三一〇五八六

コメント  
緑を活かそう景色とくらしと街づくり



## 建設業安全衛生ガイドブック(平成二〇年版)の紹介

協会にお問い合わせください

現場の安全バトールや労働災害防止

害防止のため、当協会が加盟している建設業労働災害防止

協会静岡県支部発行のガイド

ブックが発刊されました。安全な職場づくりのため、従業員

との社内研修に最適です。

建設業安全衛生ガイドブック  
(この三割引となります)



ボラ学園(焼津市)  
近年人間環境が改善され、より多くの灌木が数本見られ、夏季の灌木作業の頻度が増すなどの助言をいたしました。統計では焼津市内の公託として専門業者が設計書により適切な管理がされておりましたが、近年の温暖化現象により低木の枯損が多発され、夏季の灌木作業の頻度が増すなどの助言をいたしました。統計では焼津市内の公託として専門業者が設計書により適切な管理がされておりましたが、

近年の温暖化現象により低木の枯損が多発され、夏季の灌木作業の頻度が増すなどの助言をいたしました。統計では焼津市内の公託として専門業者が設計書により適切な管理がされておりましたが、



大井川町福祉センター

## 中部支部

# 支部だより

## 緑のクリーツク事業 育成管理巡回指導に想う

緑のクリーツク事業の一環として樹木の保護育成管理について適切な指導助言を行なうことの目的とした巡回指導も今年度二十七年目となりました。施工個所の管理担当者との意見交換で少しでも今後の管理の参考となるべとの思いで、昨年に統じての参加となりました。

七月三〇日、天候にも恵まれ焼津市内の街路樹からの調査となりました。(この)管理は市の管理委

した。

今後の管理について疑問があげた。そこで、最後は大井川町福祉センターでした。建物に入り、驚いたのはガラス越しに見えた芝生の美しさでした。担当者の話では管理を専門業者に委託して二二二〇〇平方メートルの芝刈りは年六回、除草剤、殺菌剤、芝殺虫剤とともに土壌改良など他の樹木と共に素晴らしい管理をされいました。担当者の池ヶ谷氏と施設内を調査しましたが緑化に対する意識が高く知識もあり、改めて管理担当者の重要性を再認識いたしました。

今回の育成管理巡回指導で同

たがこれは設計の段階での配慮が必要であると感じました。また、古支柱の撤去を助言させて戴きました。次は、焼津市内の民間運営の老人ホームで、増改築により平成二五年度施工の一部が移植等行われていました。枯損した樹木や状態不良を起こしたもの、あるいは樹名板が間違って設置されているなどが外は施設長が行っている状況でした。本来なら人居ている老人が花草や樹木を鑑賞し、気持ちよく暮らせる環境にあるべき施設が: と思いながら維持管理の重要性についての指導助言となりました。

## 西部支部

## 育成管理指導に行ってみて

じ植物でも植えられた場所、管理者によつて様々な環境で生きていたいたグリーンバンク未永さん、植生の声が聞こえてきました。悲痛な叫びを発している植物が少しでも減るように今後も巡回指導を通して大切さを造園家としを行つて大切さを造園家とし

を感じた一日でした。当日同行いたいたグリーンバンク未永さん、協会の熊沢さん、(有)富士呂造園の村田社長に感謝しております。

(株)静岡グリーンサービス 常務取締役 櫻井 繁



雄踏総合体育館

今回、初めて育成管理巡回指導をしてみて気付いた点を二点ほど挙げてみました。

最初に思ったことは、緑化管理に造園業者を使わず、直営で管理している施設・地域発注は造園業者が管理している(大半)を占めていました。

今のご時世だからしょうがないかも知れないですが、やはり寂しい感じがしました。そして直営管理が悪いわけではありません。造園業者だけの管理よりも管理されている施設の中にはあ

本年度も静岡県グリーンバンクが緑化工事を実施した施設を八月上旬に西部地区で十三箇所巡回指導しました。

対象施設は、平成十三・十五・十七年度でした。

今回、初めて育成管理巡回指導をしてみて気付いた点を二点ほど挙げてみました。

最初に思ったことは、緑化管理に造園業者を使わず、直営で管理している施設・地域発注は造園業者が管理している(大半)を占めていました。

今ご時世だからしょうがないかも知れないですが、やはり寂しい感じがしました。そして直営管理が悪いわけではありません。造園業者だけの管理よりも管理されている施設の中にはあ

しかし、第一に芝生内の除草・芝刈り・草刈りは、もう少し造園業者と連携して、管理をして頂きたいたいです。特に病害虫や刈り残し等が建物の死傷にあればいいのです

が、施設の傾くなる一番見える場所にあれば景観を損ねるおそれがあります。

最後に、今回視察した施設ですが、学校関係・特養ホームが多く、施設内で生活している方がたくさんいます。

緑地は大変重要なとされる施設ばかりだとおもいますので、造園業者どうも連携をとり相談しながら緑地を大事にしてください。

出来れば、今後の植栽工事の中に、二年間の樹木等の最低管理費込みの植栽工事を提案し、実現できる方向になれば幸いです。そうすれば、枯れ倒壊も大幅削減されるとおもいます。

寺田祐一郎  
有限公司社長

日本各地でナラ科のナラ類やシイ・カシ類が大量に枯れています。

原因は「ナラ枯れ」。カシノナガキクイムシが集団で木に穴を開け、ナラ菌という病原菌を持ち込むことで発生する。愛知県、長野県の隣接県で被害が報告されています。

トから

ナラ類やシイ・カシ類

部パンフレットから

ナラ枯れ

シイ・カシ類

の樹木を取

り扱う私た

ちも注意深

く観察する

必要があります。

日本各地でナラ

枯れ

が多少ありますのでご希望の方

は申し出下さい。早期発見が

何よりの被害拡大防止です。で

会員の皆様のご協力を頼んで

ます。

この木・虫を発見したら

ご連絡ください!

## カシノナガキクイムシによる被害

こんな木・虫を発見したらご連絡ください!  
～カシノナガキクイムシによる被害～

カシノナガキクイムシ(通称:ナガナガ)

幼虫は黒く、足が長いのが特徴です。  
ナラの内臓を食べながらナラの葉を落とす  
性質があります。

枯萎木の痕跡

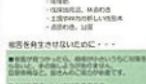
カシノナガキクイムシの死滅木(死木)は黒く  
丸見え。カシノナガ木内に死滅木がある。

カシノナガキクイムシ(通称:ナガナガ)

カシノナガが開いて穴を開けるところ

この木洞で穴を開けます  
森林の内臓を食べます  
木の内臓を食べます  
木の内臓を食べます  
木の内臓を食べます

死滅木を発見した際の確認点



死滅木を見分けた際の確認点

# 県民部環境局 自然ふれあい室

## 緑化ボランティア育成研修

〜県営吉田公園・掛川城公園・

### 特別養護老人ホームきらら藤枝〜

静岡県自然ふれあい室では、緑化ボランティアと学校や医療・社会福祉施設などを「ディネートする緑化ボランティアリーダー育成の取り組みをお手伝いしています。(財)グリーンバンクは四月から八月末まで計五回の緑化ボランティア育成研修を開催しました。

会場の県営吉田公園と掛川城公園では、研修生が講師の徳原真人氏の指導を受け白らデザインした計画に基づき植え付けをした花壇がきれいに出来上がりました。

また、七月から十月まで全四回にわたる緑化ボランティア育成研修のステップアップ編が特別養護老人ホームきらら藤枝(藤枝市)を会場に開催されています。ディサービスの利用者と研修生が一緒にコケ玉づくり、鉢にペイントして花植え、春まで楽しめる花壇づくりで園芸福祉を実践します。

皆さんもさわやかな秋空の下、花と緑とふれあう時間を使ってみ

てはいかがですか? 地域活動してしましますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

○開催せ先 県立自然ふれあい室



研修の様子

デザインや管理方法を実践しながら学びます

ア育成研修を開催しました。研修会場に開催されています。ディサービスの利用者と研修生が一緒にコケ玉づくり、鉢にペイントして花植え、春まで楽しめる花壇づくりで園芸福祉を実践します。

皆さんは、春まで楽しくてみる花と緑とふれあう時間を使つてみる花と緑と一緒にベイントして花植え、春まで楽しめる花壇づくりで園芸福祉を実践します。

皆さんは、春まで楽しくてみる花と緑と一緒にベイントして花植え、春まで楽しめる花壇づくりで園芸福祉を実践します。

皆さんは、春まで楽しくてみる花と緑と一緒にベイントして花植え、春まで楽しめる花壇づくりで園芸福祉を実践します。

**秋の森づくり県民大作戦が始まります!**

「森づくり県民大作戦」とは、森づくりに関わる団体・企業・行政

などが、力を合わせて地域の森づくりを進める取り組みです。県では、春と秋の年二回、森づくり団体

体等が実施する多くの森づくり関

係行事を取りまとめて県下に広く情報発信し、県民参加を図り、民間主催の行事を増やし、連携の輪を拡大することとしています。山の木々も色づき秋の恵みの季節を迎える十月下旬~十一月の約一カ

月間を、「森林を想い、親しむ」時期ととどらえ、秋の大作戦を実施しています。

今年は「森に光を!」

〜森林の魅力を発見する「森林鑑定団」も合

わせて実施します。

大作戦の期間は十月十八日(土)から十一月三〇日(日)までです。

か、JR各駅にて配架してあります。



椎茸原本木用伐採風景

椎茸原本木用伐採風景



きごりになろう!(夏編)の様子

### きごりになろう(秋編)

#### 〜県民の森〜

以下は一人五百円、(宿泊費別)ムページにも掲載していますので、

「しずおか森づくり情報」と検索してみてください。

秋の森づくり県民大作戦に参加

して、あなたの知らない森の魅力に触れてみませんか!

みんなで、森を大切にすることを通して、地球にやさしいことを考えてみませんか?

イベント内容、その他、詳細は、

○宿泊施設 ロフト付ログハウスが

一棟一万円、ロフト無しが一棟八千円。ロッジ一人部屋が、室二千七百円、六人部屋が一室三千円。

○問合せ先 県民の森管理棧(きごりになろう)

○電話 ○五四一・二六〇一・二三二四

○応募方法 ハガキかFAX HPの申込フォームで、住所・氏名・電話番号・人数(大・小・幼別・希望宿泊施設を明記して下さい。

〒四二八一・五五〇四

静岡市葵区井川五四四七

静岡市森組合(きごりになろう)係まで

○FAX ○五四一・六〇一・二六七八

○HP <http://www.kennmininfo/> (または静岡県民の森で検索)

○定員 十組(二~六名の家庭

○参加費 大人一人千円、中学生

○締切 十一月十日(月)(先着順)

## これもいい！ 浜名湖ガーデンパークの楽しみ方（体験教室編）



竹とんぼ

みどりのおたより

毎年一〇〇万人が訪れる浜名湖ガーデンパーク。例えば春は花や緑を、夏は水遊び、秋にはイベントやスポーツと、皆さん思い思いに楽しんでいます。それでは冬はどう、イベントもひと段落し、植物も植え替えの時期となります。そのため、展示塔からは、広々とした浜名湖や、澄んだ晴れた日には富士山も望めるなど、冬景色もまた格別です。

このように、四季折々に楽しめる浜名湖ガーデンパークの中でも、人気の屋内スポーツが体験学習館です。その館内と周辺では、一年を通じ、毎週土曜日、日曜日に「浜名湖ガーデンパークレンズ」のボランティアの皆さんによる、体験教室を開催しています。

体験教室の一端を紹介します。子どもたちに大人気なのは「竹とんぼ・竹てっぽう教室」。手作りの竹とんぼがクルッと空を舞う姿に、子どもたちは目を輝かせ、高く飛ばそうと何度も



アレンジメント



クリスマスリース

挑戦しています。また、プラスチックの円盤による的当てゲーム「ディスクゴン」は、大人も子どもも気軽に楽しめる館内スポーツとして人気上昇中です。そして、女性に人気が高いのは、何といつても「花」を素材にした教室。

フラワーアレンジメントやフラワーボトル、押花や絵手紙、ブリザーブドフラワーなど、いずれも二〇分から三〇分で完成しますが、観光ツアーでお越しの方々にも、自作の記念品としてお好評をいただいています。



さて、これからの中月、十一月・十二月にかけて人気のある教室は、クリスマスやお正月を飾るいろいろな小物づくりです。クリスマスリースやミニ盆栽、

### 景観整備機構コーナー

お正月用ハンギングバスケット、しめ縄作りなど、土曜日・日曜日の体験学習館は、一足早いクリスマス＆お正月気分でいっぱいです。

小春日和の朝、頑張って歩けばそこは展望塔。高さ五〇メートルの展望室から望む浜名湖の清々しさ、澄み渡る東の空には富士山の勇姿。ボタンやサザンカに見送られ、幅り道で体験学習館へちよと寄り道。オリジナル作品を手にホットな気分です。

これから迎える冬の季節あなたはガーデンパークでどんな楽しみ方を見つける？

項目	内容
みどりの相談所	・フラワーフェスタ2008の相談所開設（4月 ガーデンパーク19件） ・協会事務所における緑化相談（4月以降3件）
調査研究	・都市景観形成に資する「壁面緑化モデル事業（仮称）」準備に着手
普及啓発	・イベント開催時に「緑あふれる生垣づくり」「緑となかよし」などの資料を配布して、関心・興味・試行・実践へのきっかけづくりを行った。

## 「花咲くしづおか」花いっぱいコンクール 入賞者決定！

花と緑にあふれた美しい県づくりを推進するため実施する

「花咲くしづおか」運動の一環として、学校や職場、地域などの花壇や庭づくり、緑化への取組を対象に「花咲くしづおか」花いっぱいコンクールを開催したところ、県内から一〇九点の応募がありました。九月十六日に審査会を実施した結果、入野保育園明光会(浜松市)のほか4者が最優秀賞受賞者となりました。表彰式は、十一月四日(火)にグラシシップで開催する「花咲くしづおか」運動県民大会において行います。

「花咲くしづおか」運動県民大会では表彰式のほか、講演、花装飾のデモンストレーション、静岡県産花きの展示を行います。

花の種のプレゼントや抽選でお楽しみもありますので、皆様ぜひお越しください。



職場・地域の部(面積200m<sup>2</sup>未満の部) 最優秀賞のガーデン



個人の部(面積20m<sup>2</sup>以上の部) 最優秀賞のガーデン

「花咲くしづおか」運動  
県民大会

● 日 時

十一月四日(火)

十三時十五分から

十六時二〇分

● 場 所

グランシップ十一階  
会議ホール風

(最寄駅 J.R.東静岡駅)

花と緑、生活文化の華吹き～暮らしの花、生活の緑～

### 浜名湖フリワー&ガーデンフェア 2009

2009年11月10日(金)～17日(木)

浜名湖ガーデンパーク 入場料無料

ワールドカーテンコンペティション

部門賞など

学校の部

職場・地域の部(面積200m<sup>2</sup>未満の部)

職場・地域の部(面積200m<sup>2</sup>以上の部)

個人の部(面積20m<sup>2</sup>未満の部)

個人の部(面積20m<sup>2</sup>以上の部)

主催 浜名湖フリワー&ガーデンフェア実行委員会

TEL:054-221-2679

### <コンクール最優秀賞一覧>

部 門	団体名、氏名(敬称略)
学校の部	入野保育園 明光会(浜松市)
職場・地域の部(面積200m <sup>2</sup> 未満の部)	西伊豆町宇久須女性会
職場・地域の部(面積200m <sup>2</sup> 以上の部)	浜松市花いっぱいコミュニティ緑化連絡協議会
個人の部(面積20m <sup>2</sup> 未満の部)	机 貞代(浜松市)
個人の部(面積20m <sup>2</sup> 以上の部)	高林 やすゑ(浜松市)

# 技士会だより



## 自然からの警鐘

国土交通省や環境省では、三面張りの河川から多様な生物との共生が図れる河川への転換を目指して、岩や自然石を用いた多自然型の河川改良工事を行っています。また、水鳥の保護を目的とした湿原や湿地帯の保護を行っているもののまだそれほど進んでいないのではないか。湿地は私たちの生活圏に近い場所に多くあり、それだけに環境汚染の影響を受けやすいのです。湿原や湿地帯は土地の埋め立てで減少の一途を辿っています。そのため湿地帯等の在来生物が今絶滅の危機に瀕しているのが現状だと思います。

古来、日本は豊葦原の瑞穂の國と美称されるほど豊かな湿地に恵まれた国だったはずですが、しかし、豊かな湿原や湿地帯は人の営みや産業の発達のために、いまだに減少し続けています。数百年、数千年かかって出来た湿原や湿地帯の生態系を元に戻すためには大変な年月かかるのではないか。

（静岡県造園施工管理技士会会長 望月教彦）

自然の保護に努めていきたいものと思っています。森の自然形態を崩していたのも我々の責任だと思います。生活のために自然林を一斉に伐採し、単純な林相を造りてきました。その為に山奥の自然形態をも破壊して山の生態系が変わることとなり、山里では動物が畠を荒らし回り農家は大変困っている状態です。現在では都会にまでイノシシやサル、クマ等が現れ人に危害を加えている状況にあります。

結局、私たちが自然を変えた結果、そのツケが回ってきたもので私たちに対する自然から

の警鐘であると思っています。

残された森林、原野、湿原や湿地帯の保護を早急に行わなければなりません。自然を造り出すことも大切な事ですが、自然を守ることこそが私たちが後世に残せる「未来への遺産」

とすることが出来るものと思います。（静岡県造園施工管理技士会会長 望月教彦）

か。私たちはこれからも身近な自然の保護に努めていきたいものと思っています。

（同上）

座学では、講師の稲葉建雄先生による「山野草の生育環境と管理手法」、「山野草の特性等」のお話を拝聴しました。平成四年の調査では七二二種であった園内の植物が、平成二十年現在では八〇〇種にも増えていました。その為に山奥の自然形態をも破壊して山の生態系が

変わった一因となり、山里では動物が畠を荒らし回り農家は大変困っている状態です。現在では都会にまでイノシシやサル、クマ等が現れ人に危害を加えている状況にあります。

結局、私たちが自然を変えた結果、そのツケが回ってきたもので私たちに対する自然から

第四回「山野草」技術研修会に学んで  
第四回目の富士山ごとのもの

国での研修会は、前回同様の悪天候ではありました。座学を経て現地研修が行われました。

座学では、講師の稲葉建雄先生による「山野草の生育環境と管理手法」、「山野草の特性等」のお話を拝聴しました。平成四年の調査では七二二種であった園内の植物が、平成二十年現在では八〇〇種にも増えていました。その為に山奥の自然形態をも破壊して山の生態系が

変わった一因となり、山里では

動物が畠を荒らし回り農家は

大変困っている状態です。現在

では都会にまでイノシシやサル、

クマ等が現れ人に危害を加え

ている状況にあります。

結局、私たちが自然を変えた

結果、そのツケが回ってきたもので私たちに対する自然から

の警鐘であると思っています。

残された森林、原野、湿原や湿地帯の保護を早急に行わなければなりません。自然を造り出すことも大切な事ですが、自然を守ることこそが私たちが後世に残せる「未来への遺産」とすることが出来るものと思

います。（静岡県造園施工管理技士会会長 望月教彦）

## 造園施工管理技士をめざして （平成二十年度造園施工管理技術検定試験準備講習会）

造園施工管理技士の資格を

目指して今年度も受講生が汗

を流した。

これまでの造園施工管理技



ツリフネソウ（つりふねそう科）

浪造園 川村貴志

区	分	受験者数
全	体	9
会	員	5
非	会員	4
一級受験者		2
二級受験者		7



講習会の様子

術検定の実地試験合格率を見てみますと平成十九年度は一級が二〇・〇%、二級が二

三・八%。過去三年間の平均

は一級が三二・八%、二級が二九・五%と依然厳しい難関です。五年前の平成十五年度の一級が七一・九%、二級が八〇・八%と比べてもいかに難しくなってきていることがうかがえます。工事受注などがたって技術者の保有状況が評価の重要な位置づけとされていました。優秀な技術者、技術者が現れています。技術者は欠かせない状況となっています。技士会では少しでも技術者の絶対数を確保することを目的としてこれまで試験準備講習会を毎年実施してきました。今後とも会員の皆様の積極的なご参加を願っています。

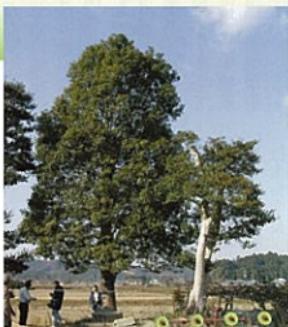
## (社)静岡県造園緑化協会 設立40周年記念・富士山静岡空港開港記念 「献木」標柱除幕式を計画

協会は設立40周年記念事業で富士山静岡空港開港記念に「献木」をすることとして平成18年4月27日の記念式典において目録を静岡県にお渡したところです。

いよいよ開港が間近に迫ってきました。献木は「クスノキ」。樹高約12m、目通り1.8m、樹齢約70年の袋井市産の威風堂々とした一品です。

この11月に移植を完了しますが、当協会は開港記念の式典に合わせて記念標柱の除幕式を催す予定です。

詳細が決まり次第改めて皆様に連絡いたします。



献木クスノキ

## 森の力再生事業の整備者(施工者)要件が緩和されました

去る、平成18年6月20日に「森の力再生事業」について静岡県森林計画室の担当者を招き、事業の説明会を開催ましたが、その後改正があり、私達造園関係業もより参加し易くなったように思います。

現在、当協会員3社がこの事業を実施しております。この度、参加できる整備者の資格要件が緩和されましたので、その概要をお知らせします。

森林整備者に求められる能力の要件として「その他知事が適当と認めた団体」とありますが、この団体として建設業者、NPO、自治会、任意の森づくり団体、林業者が組織する団体等を想定することとなりました。

具体的には、下表の4(1)(2)の条件と共に満たされれば造園関係業者も参加出来ることが十分考えられます。

### 森の力再生事業の整備者の要件

#### 1 整備者が行う業務

- ・権利者の特定・交渉
- ・森林現地調査・整備計画書作成(事業提案)
- ・森林整備(環境伐、整理伐、丸太土留設置、作業路開設など)
- ・実績報告書作成
- ・権利者が行なう整備後の対象森林の適正管理への協力

#### 2 整備者に求められる能力

- (1)森林整備業務が実行できる能力【必須】
  - ・安全かつ適切な現場管理、作業がされること
  - ・組織として作業上の事故(死亡事故を含む)に対する責任体制があること
- (2)森林現地調査・事業提案ができる能力【必須】
  - ・森林植生、森林土木全般に精通していること
  - ・植生等調査、簡易測量、森林整備の事業提案ができること
- (3)その他の能力
  - ・適正な事務・会計処理ができること
  - ・権利者との円滑な交渉ができること
  - ・整備後の森林管理が継続してできること



センリョウ

秋冬の紅葉と光沢のある葉が珍重される。正月の生け花として飾られる。赤い実と黄実がある。

### 3 実施主体(整備者)の要件 (次の(1)、(2)のいずれかを満たすこと)

(1) 森林整備工事入札参加資格者名簿に登載済の団体(36団体、平成19年9月現在)

(2) その他知事が適当と認めた団体(想定:建設業者、NPO自治会、任意の森づくり団体、林業者が組織する団体等)

### 4 その他知事が適当と認める団体の要件 (下記の二つの条件を共に満たすもの)

(1) 森林整備に係る1人以上の専門技術者(以下のいづれかの資格を有する者)を団体の責任において確保・従事させることができること(専門性、安全性)

・林業普及指導員試験合格者(国)

・林業作業士(県)

・静岡県以外の都道府県知事が認定した林業作業士と同格の資格

・林業技士(社)日本森林技術協会

・これと同等以上の能力と経験を有する技術者(経験年数)

(2) 次の条件をいづれも満たす森林整備に係る3人以上の作業スタッフを団体の責任において確保・従事させることができること(実行性、安全性)

・チェンソート特別教育修了者(労働安全衛生規則)

・労災保険加入者(職種「林業」、雇用関係の無い団体の場合は労災保険に準ずる保険に加入)

お問い合わせ:(社)静岡県造園緑化協会、静岡県建設部森林計画室、最寄りの農林事務所森林整備課

## 協会日誌

月 日	行事又は会議
平成20年	
7月11日	静岡県・森林・林業研究センター振興協議会総会
7月17日	(社)静岡県建設産業団体連合会事務局長会議
7月22日	浜名湖フローワフェスタ実行委員会
7月22日	新公益法人制度に関する説明会
7月25日	建設業労働災害防止協議会静岡県支部主任・団体安全指導者会議
7月25日	正副会長、支部長、技術委員長会議
8月20日	「カシノナガキクイムシ」防除に関する説明会
8月21日	静岡県農林技術研究所研究推進会議
8月25日	シニアワーク造園緑化講習会(静岡会場)開講式
8月27日	会報編集会議
9月 9日	美しいしづおか景観推進協議会景観賞第1回現地調査
9月25日	美しいしづおか景観推進協議会景観賞第2回現地調査
9月25日	シニアワーク造園緑化講習会(富士会場)開講式
10月 2日	美しいしづおか景観推進協議会景観賞第3回現地調査
10月 3日	静岡県建設業労働災害防止大会
10月 6日	シニアワーク造園緑化講習会(大井川会場)開講式
10月16日	静岡県環境局ふれあい室検査
10月20日	シニアワーク造園緑化講習会(藤枝会場)開講式

前回発行いたしました「夏号」に下記の通り訂正箇所がありました。訂正をお願いいたしますと共に、お詫びいたします。

### 訂 正

訂正箇所	誤	正
15ページ写真説明文上段写真	ノウルシ(どうだいぐさ科)	キリンソウ(べんけいそう科)

